

第43回 平成26年

新潟県指定無形民俗文化財

三条かぐら鑑賞会

日時 10月5日(日) 午後0時30分開演

会場 三条市中央公民館大ホール



主催

三 条 市
三 条 神 楽 保 存 会

プログラム

- | | | | |
|---|-----------|------------------|-------|
| 1 | 開会のことば | 三条神楽保存会会長 | 佐藤 力 |
| 2 | 主催者あいさつ | 三条市長 | 國定 勇人 |
| 3 | かぐらの演舞 | (解説) 神明宮禰宜 | 三上 正行 |
| | (1) 特別演奏 | 一ノ木戸小学校特設凧ばやしクラブ | |
| | (2) 羽返の舞 | 田 島 | 諏訪神社 |
| | (3) 地久楽の舞 | 保 内 | 小布勢神社 |
| | (4) 大鉾の舞 | 三 条 | 八 幡 宮 |
| | (5) 悪魔払の舞 | 大 崎 | 中山神社 |
| | (6) 太平楽の舞 | 田 島 | 諏訪神社 |
| | (7) 四神の舞 | 三 条 | 八 幡 宮 |
| | (8) 杵樹の舞 | 塚野目 | 白山神社 |
| | (9) 奉幣の舞 | 一ノ木戸 | 神 明 宮 |
| 4 | 閉会のことば | 三条市市民部生涯学習課長 | 長谷川健康 |

1 特別演奏

一ノ木戸小学校特設凧ばやしクラブ

<特設凧ばやしクラブについて>

一ノ木戸小学校の特設凧ばやしクラブは、4・5・6年生から希望者を集めて、三条凧ばやしや循誘太鼓・創作太鼓を中心に演奏活動を行っています。

当校に凧ばやしクラブが創設されてから、今年で41年になります。学校創立百年の記念としてスタートし、現在も以下の行事で、4～6年生の子どもたちが力を合わせて元気に演奏を披露しています。

5月 校内運動会 『三条凧ばやし』 6月 三条凧合戦 『三条凧ばやし』

8月 三条夏祭り 『三条凧ばやし』 11月 校内文化祭 『循誘太鼓』『創作太鼓』

現在は、11月の文化祭に向けて、新たな曲を練習中です。互いの響きを聴き合い、心を1つに演奏ができることを目指し、自分たちができることを精一杯出せるよう練習に取り組んでいます。

<演奏曲について>

『お祭り太鼓』

大太鼓・しめ太鼓・たる・かねを使って、にぎやかなお祭りの様子を表しています。曲に合わせて体を動かしたくなるような、力強い演奏になるように心を1つに演奏します。

『三条凧ばやし』

三条と言えば、六角巻凧による凧合戦が有名です。凧合戦のおこりから、凧が空高く舞い上がる情景までをうたったのが、この『三条凧ばやし』です。演奏する学校や団体によって、アレンジは様々です。当校では歌に加えて、大太鼓・しめ太鼓・たる・かね・笛によるおはやしと、組踊りで構成しています。

力強いおはやしの音と伸びやかな歌声は、まるでたくましい揚げ師と元気に空を舞う凧のようです。踊る姿からも凧揚げの様子が目に浮かびます。

ぜひ情景を想像しながら、2つの曲をお楽しみください。



2 はがえし 羽返の舞



田 島 諏訪神社

稚児4人で舞う。天岩戸の変の時、岩戸の前で羽根扇を両手に持ち、大神のおでましを一時も早くと、国土四神に、岩戸前に参集なされた神々が祈りを捧げられた事に由来する舞です。

【囃子】羽返拍子

【装束】天冠・白狩衣・青袴・曲玉

【採物】扇2本

3 ちきゅうらく 地久楽の舞



保 内 小布勢神社

天地長久を祝して天忍日命あめのおしひのみことが天岩戸の大前で、天地とともにみんなの安全を祈ったことに由来する舞です。

また、この舞は能狂言の「三番叟さんばそう」の装束で鈴をもって舞う形が、それに似ていることから、俗に「さんばさ」ともいわれています。

【囃子】大満

【装束】大烏帽子・子太毛頭・金欄大狩衣・大口

【面】悪魔祓面

【採物】鈴

4 おおぼこ 大鉾の舞

三 条 八 幡 宮

くしいしまどのかみ 櫛石窓神が、天孫降臨に先立ち、おもいがみのかみ 思金神、

たじからおのかみ 手力神と共に、中津国の荒ぶる神たちを鉾をもって鎮圧したことに由来するといわれる舞です。

なおこの舞を「地鎮の舞」(又は「とこしずめの舞」)ともいいます。鉾の霊力を表徴するのがこの舞です。

【囃子】大満

【装束】大毛頭・金襴大狩衣・大口袴

【面】 悪魔祓面

【採物】大鉾



5 あくまぼらい 悪魔払の舞

大 崎 中 山 神 社

天孫の降臨に先立ち、フツヌシノミコトが中津国の荒ぶる神を打ちしずめるために努力されたことにちなんだ舞で、神刀の威力で邪気を祓い、世の中の安泰を祈るものです。

フツは、刀剣の鋭く物を立ち切る音の擬声語で、諸々の悪を刀剣で断ち切ることを象徴した舞です。

【囃子】悪魔祓拍子

【装束】金襴法被差袴毛頭 (大)

【採物】 剣



6 たいへいらく 太平楽の舞



【採物】丸盆二枚

田 島 諏訪神社

天の岩戸の変の時、いしこりどめのみこと岩凝姥 命 が天の金山の鍬で
やたのかがみ八咫鏡 を造り、その完成を祝ったという故実による
舞です。

この舞は別名が多く、「鏡づくり」「盆舞」「日月」
などの呼び方があります。

「鏡づくり」は、やたのかがみ八咫鏡 を作ったということから、
「盆舞」は、採物が盆であることから。「日月」は二
枚の盆を口と月にみたててこの名があります。

【囃子】シヤギリ

【装束】毛頭・千早・立付

【面】彦面

7 しじん 四神の舞

三 条 八 幡 宮

稚児 4 人による舞で、葦原の中つ国を四神の鉾でかため、安泰を祈る意味の舞とさ
れています。

四神とは、四の方角を守る神で、東は青竜、西は白虎、南は朱雀、北は玄武といい、
それぞれの方角の守護にあたって
います。

四神を描いた旗を四神旗とい
い、朝廷では、即位礼の時や元日
朝賀の折に四神旗を鉾に結んで大
極殿、紫宸殿の庭に立てられたこ
れを「四神鉾」といいます。

【囃子】四神拍手

【装束】舟型烏帽子・狩衣
大口・襷

【採物】鉾



8 杵樹の舞

塚野目 白山神社

二人で舞います。中津国の荒ぶる神たちを鎮めるべく、弓矢を持つ武甕槌命たけみかづきのかみが天下り、火の神迦具土命かぐつちのかみと協力して中津国の安泰をはかったことにもとづく、天長地久四方泰平を祈る舞いです。

弓矢は武力による邪悪の平定を意味し、杵と飯しゃもじは、食を充分に与えて民の生活を豊かにすることをあらわしています。

【囃子】三拍子、しゃぎり 【装束】武甕槌命一立烏帽子・狩衣、迦具土命一彦姿
【面】武甕槌命一杵樹面、迦具土命一彦面 【採物】武甕槌命一弓・矢、迦具土命一杵・飯しゃもじ



9 奉幣の舞

一ノ木戸 神明宮

天岩戸の変の折天香山の五百津真賢木いおつまきかきを根こぎにして、その下枝したえだに白和幣しろにぎてと青和幣あおにぎてをかけたれ、天兒屋根命あめのこやねのみことが、天照大神が岩戸からのお出ましを願う祝詞を奉上した故実に基づく舞です。

なお、この舞は岩戸開きの舞の最後に舞われるものですが、これだけを取り出し、その日の舞列の最後に舞われています。

【囃子】羽返拍手 【装束】狩衣・切袴・立烏帽子 【面】奉幣面又は素面 【採物】鈴・幣



三 条 神 楽 の 由 来

三条神楽は、出雲神楽系統に属する神楽です。出雲神楽は、岩戸開き神話を中心とし、その他古くから出雲大社に伝わる神事や、神社の縁起を新たに取り入れ演じられた神楽です。その出雲流の神楽が、山陰から北陸を経て三条の地に伝えられたものと考えられます。

江戸時代の文化8年(1811)には、三条(八幡宮)で神楽が舞われていたことが、古記録に残っていることから、その起源はさらに遡るものとみられます。

ふつう5舞か7舞を伝えるものが多いなかで、三条神楽は32舞も保存されていて、たいへん珍しいため、昭和38年3月、県の無形民俗文化財に指定されました。

このようにすぐれた郷土芸能を、広く市民のみなさんから知っていただき、後世に伝えるため、三条市および三条神楽保存会では、後継者の育成に努めています。研修会や講習会などをおして研鑽を重ねる一方、ビデオや映画に収録したり、本にまとめたりして、当市の伝統芸能の保存をすすめています。

新潟県指定
無形民俗文化財

三条神楽32舞の演目

1 先稚児の舞	9 鳥形の舞	17 天川の舞	25 杵樹の舞
2 宮清の舞	10 羽返の舞	18 奉幣の舞	26 宝剣作の舞
3 悪魔祓の舞	11 岩戸開の舞	19 小弓遊の舞	27 深山錦の舞
4 鎮護鉾の舞	12 地久楽の舞	20 四神の舞	28 神勇の舞
5 久奈戸の舞	13 稲田宮の舞	21 五行の舞	29 五ツ刀の舞
6 五穀撒の舞	14 榊の舞	22 大鉾の舞	30 三座返の舞
7 五穀捧の舞	15 花献の舞	23 天孫降臨の舞	31 宮司舞
8 太平楽の舞	16 福神遊の舞	24 末広の舞	32 乙女舞